

広島港宇品地区クルーズターミナル（仮称）建設工事の着手について

1 要旨・目的

令和4年10月に契約した「国際拠点港湾広島港宇品地区クルーズターミナル（仮称）建設事業」において、設計が完了したため、令和5年7月からターミナル建設工事に着手した。

2 現状・背景

世界的なクルーズ人口の増大を背景に多くのクルーズ客船が寄港している広島港宇品地区において、国際交流人口を拡大し地域の活性化を図るためにクルーズ船受入環境の充実が不可欠であり、円滑な出入国手続が行えるクルーズターミナルを整備する。

3 概要

(1) 対象者

クルーズ船利用者及び地元住民

(2) 事業内容（実施内容）

ア 工事概要

工事概要：ターミナル設計・施工（平屋建て）、外構設備・電気設備・機械設備

工事場所：広島市南区宇品海岸三丁目

工期：令和4年10月1日～令和6年3月29日

受注者：大和リース株式会社

請負金額：836,000,000円（税込）

発注方式：公募型プロポーザル（設計施工一括方式）

イ クルーズターミナルの概要

(ア) 外観デザイン

広島港の海の玄関口として、国内外の観光客に対して魅力ある外観デザインとするため、公募型プロポーザルにより提案を求め、デザインを決定した。

(イ) 建物諸元

・CIQ棟（延べ面積 約950㎡）

CIQ検査エリア（税関、出入国管理、検疫）、トイレ、空調設備、Wi-Fi設備等

・待合棟（延べ面積 約400㎡）

待合エリア、トイレ、展望スペース、エレベーター、給湯設備、空調設備、Wi-Fi設備等

※CIQ：Customs（税関）・Immigration（出入国管理）・Quarantine（検疫）

(3) スケジュール

工事期間：令和5年7月～令和6年3月

(4) 予算（単県）

令和4年度 327百万円、令和5年度 574百万円

(5) 今後の対応

令和6年3月のクルーズターミナル完成を目指し、着実に工事を進める。

